

札幌市まちづくり戦略ビジョンって何？

札幌市のまちづくり全体に関する 一番大切な計画です

考え方・特色



- 戦略ビジョンは、まちづくりの幅広い分野にわたる、もっとも基本的な計画です。
- 戦略ビジョンには、将来目指す札幌のまちの姿を描いた<ビジョン編>と、ビジョン編の考え方を実行するために、主に市役所が力を入れて取り組むことを書いた<戦略編>の二つで構成されます。現在作っているのは<戦略編>です。

戦略ビジョン まちづくりのもっとも基本的な計画

ビジョン編 私たちが目指す札幌の姿を描いたもの

戦略編 主に市役所が力を入れて取り組むことを示したもの



- 集中して取り組む3つのテーマ
- これから目指していく札幌のまちの造り
- 市役所がまちづくりを進める上でのポイント

期間



- 平成25年度（2013年度）から平成34年度（2022年度）までの10年間、この計画に基づいてまちづくりを進めます。

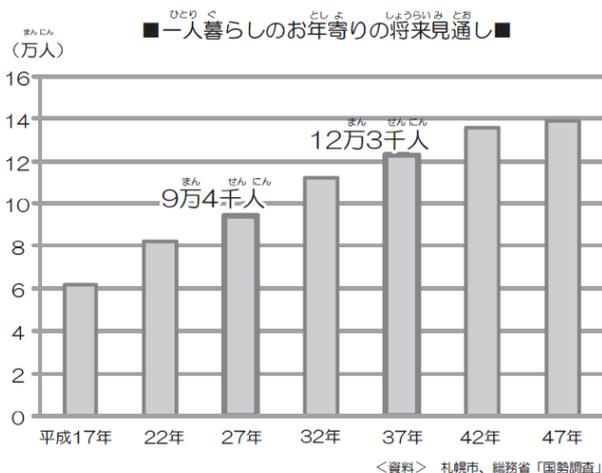
札幌市の現状と課題

社会の変化が、私たちの暮らしに さまざまな影響を与えています

超高齢化

誰もが安心して暮らせるまちづくりを
考えることが大事です

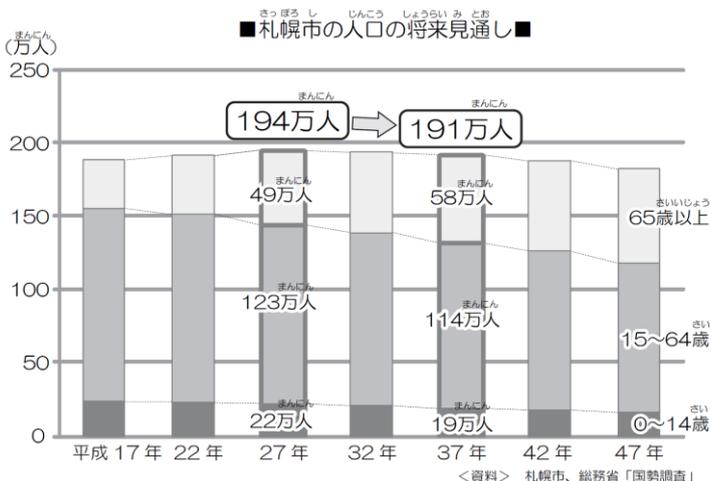
- お年寄りが大幅に増え、世話を受たり、見守ってもらったりすることが必要な人が増えています。
- 特に、一人暮らしのお年寄りが増え、12年後の平成37年には、8つの家庭のうち1つは一人暮らしのお年寄りの家庭となる見込みです。



人口減少

人口が減ることも考えながら
まちづくりを進める必要があります

- 今まで増え続けてきた人口が平成27年頃から減り始めると予測されています。
- 札幌の経済を支える働く世代（15～64歳）は平成17年から減り始め、それによって札幌の経済の力が弱まる心配があります。

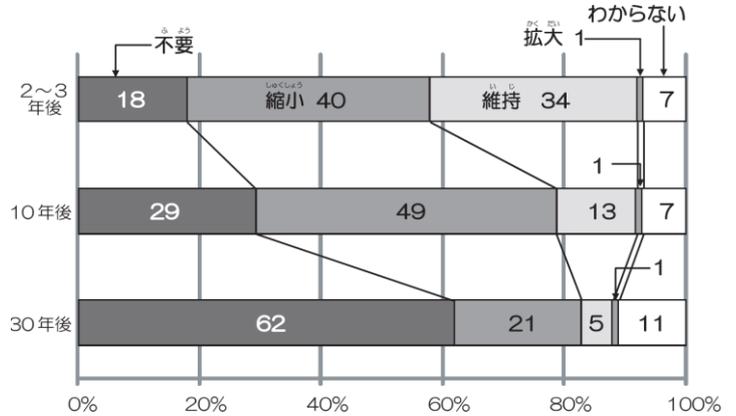


かんきょう
環境
エネルギー

ちきゅう
地球にやさしいまちづくりと
せいかつ みなお ひつよう
生活の見直しが必要です

- 福島第一原子力発電所の事故をきっかけとして、原子力発電に頼らず、太陽光などの再生可能エネルギーを増やすことが望まれています。
- 家庭で使うエネルギーは、冬の暖房使用によってほかの都市よりも多くなっています。

■ 原子力発電の今後の在り方 ■



<資料> 札幌市「平成23年度エネルギーに関する市民意識調査」

しゅうちゅう
集中して取り組む3つのテーマ

しゃかい へんか あわ
社会の変化に合わせて、3つの
しゅうちゅう
テーマに集中して取り組みます

しゃかい へんか
社会の変化

ちょうこうれいか
超高齢化

じんこうげんしょう
人口減少

かんきょう
環境・エネルギー

たいおう
対応

たいおう
対応

たいおう
対応

3つのテーマ

くらし・コミュニティ
暮らし・コミュニティ

さんぎょう かつりょく
産業・活力

ていたん そしゃかい
低炭素社会・エネルギー転換